

山西里づくり計画

— 住み続けるわが里、心一つで発展を —



平成 14 年 10 月

山西里づくり協議会

山西里づくり計画 目次

山西里づくり計画の策定にあたって

I	地域の概況	1
	(1)地区の位置及び区域	1
	(2)地区の気象	1
	(3)地区農業の歴史及び自然	1
	(4)地区の農家人口・農地面積等	3
	(5)歴史・史跡等	3
	(6)アンケート調査	5
	(7)点検マップ	18
II	整備の目標及び方針	19
III	農業振興計画	19
	(1)地域特産物づくり	19
	(2)貸農園等の設置と都市住民との交流	19
	(3)おいしい米づくり	19
	(4)集落営農の推進	20
	(5)ため池等水利施設の整備	20
IV	環境整備計画	20
	(1)良好な環境の維持	20
	(2)下池周辺のゴミ対策	20
V	都市住民との交流に関する計画	21
	(1)ひまわりの植栽	21
	(2)直売所の設置	21
	(3)遊休ため池の有効活用	21

資料編

山西里づくり協議会規約・名簿

山西里づくり協議会活動経過

山西里づくり計画の策定にあたって

平成 14 年 10 月 28 日
山西里づくり協議会
会長 穴田 勝進

私たちの住む山西地区は、神戸市西区神出町広谷にあり、神出町内の 19 ある農業集落中で 2 番目に少ない戸数 20 戸の集落です。国道 175 号線が地域の真ん中を通り、神出町の中央に位置し三木市に近い集落です。

昭和 62 年度～63 年度にかけて圃場整備事業が完了し、農道も拡幅され、どの圃場にも車やトラクター等が自由に行けるようになり大変便利になりました。

そして地域の基盤整備ができた結果、自治会館(集会所)・市民公園・上下水道も完成し、地域住民全体が明るくなりました。また、当地区においては、行事には集落全体であたるような地域としての協力基盤があり、集落がよくまとまっているのが誇りです。

今後は、内容の充実・発展を目標に、みんなで知恵を出し、力を合わせて自分たちの住むまちを良くしていくよう努力してゆきたいと存じます。

なお、この計画は、周辺 6 集落と連携し活動している「神出 雌岡山南地区活性化推進研究会」の検討内容にも配慮して策定いたしました。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、神戸市西農政事務所の職員の皆さま方にご協力いただきましたこと、心より感謝し厚くお礼申し上げます。



山西市民公園

I 地域の概況

(1) 地区の位置及び区域

神出町は明石川と加古川にはさまれた台地、印南野の一部で、神戸市の西部、播磨地帯の東端に位置する。

山西集落はJR明石駅から北に12km、神戸市営地下鉄西神中央駅から北西に5kmの距離で、神出町のほぼ中央に位置し、南北に国道175号線が通っている。

(2) 地区の気象

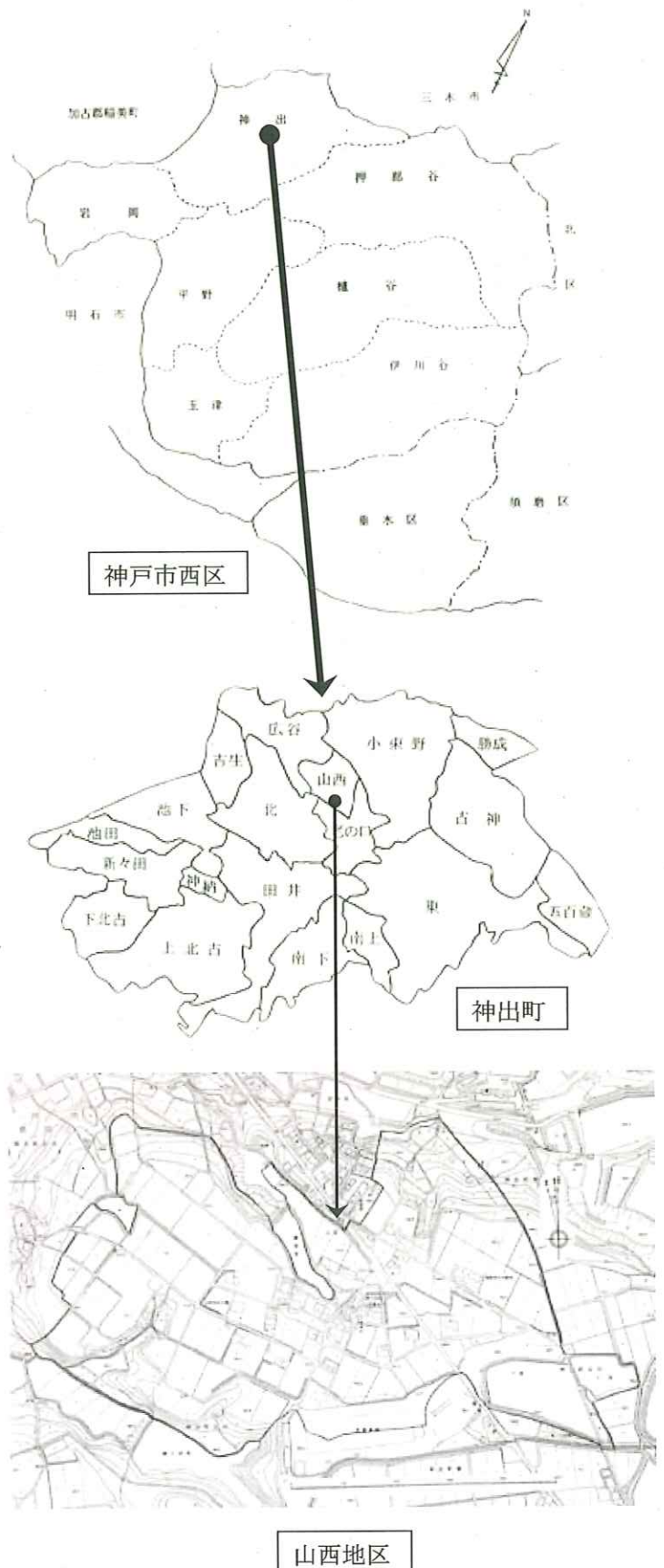
温暖で降水量の少ない瀬戸内式気候に属し、その中でも特に雨量の少ない地域である。古くから干ばつが発生しやすく、この対策として大小多くのため池が築造され、地域独特の景観を呈している。

(3) 地区農業の歴史及び自然

神出地区の平野部は、洪積層高位段丘からなる台地で、耕作地の土壌母材は砂・礫・粘土からなり、pHは強酸性から酸性を示し、強粘性、排水不良の特性を持っている。

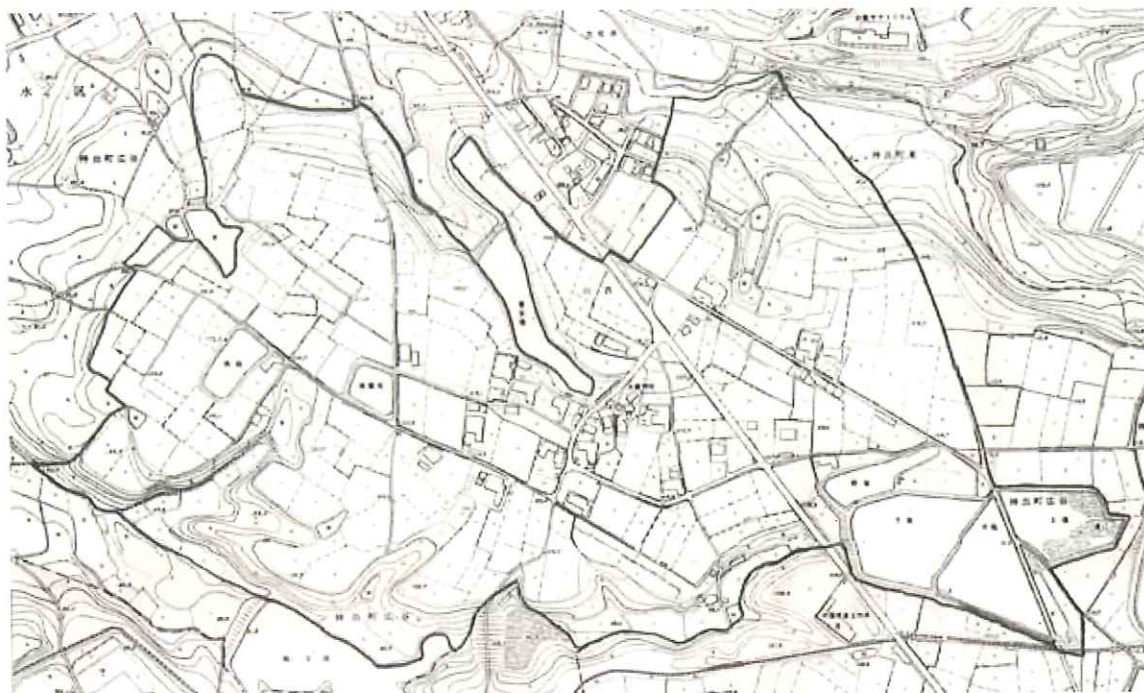
明石藩の新田開発施策により開拓された当地区は、古くから稲作主体の農業を行っていたが、大きな河川がないことと、気候及び地形の問題から干害・風害の影響を受けやすく、淡河川・山田川疎水で灌漑用水供給が安定するまで水稲作付面積は増加していない。昭和11年の『明石郡農業水利改良計画書』によれば、神出村平均の数値で、農業水利の95.1%をため池に頼っている。

昭和62年から平成元年にかけて行



われた圃場整備により、農業生産効率は向上し、安定した生産環境が確保できるようになった。圃場整備前後の地区の地図を下に示す。

圃場整備前の山西地区（昭和 48 年ごろ）



現在の山西地区（平成 12 年 9 月）



(4) 地区の農家人口・農地面積等

(農林業センサス等 単位:戸、人)

年度	農家数	(内訳)			農家人口	(内訳)	
		専業農家数	第1種兼業農家数	第2種兼業農家数		男性	女性
1980	20	0	5	15	94	49	45
1985	17	0	4	13	90	46	44
1990	17	2	4	11	89	43	46
1995	15	1	1	13	73	33	40
2000	16	1	1	14	79	40	39

(単位:a)

年度	農地面積	(内訳)		
		田	畑	樹園地
1980	1,917	1,885	32	0
1985	1,771	1,668	103	0
1990	1,732	1,685	47	0
1995	1,606	1,527	79	0
2000	1,635	1,592	43	0

地域の全体面積
42.6ha
(全域 農業保全区域)

(5) 歴史・史跡等

大歳神社

素戔鳴尊(すさのおのみこと)の子、穀物の守護神である大歳神(おおとしのかみ)を祀る神社で、当地区の鎮守(その地を鎮め守る神)。創立の時期は寛保元年(1741年)8月。平成15年度に改築が予定されている。



祈年祭、秋祭、伽耶(カヤ)講などの祭礼は、集落全員が参加して行われる。

<行事の風景など>



正月4日に行う「お鋤廻り」の様子。抽選で選ばれた3名がそれぞれ伊勢神宮神札・鋤(雄鋤・雌鋤一対)・末広を持ち、神前での行事を行った後、各農家を回る豊作祈願である。神具の箱の裏には「明和八歳卯(1771年)」の年号が見え、この行事の歴史を物語っている。



9月12日に行われる秋祭の様。神出神社の宮司を招き、集落全員が参列して行われる。収穫に感謝し、集落の繁栄を祈って行われる行事である。

山西青木地蔵(地蔵池跡)

圃場整備により埋め立てられ、現在は山西市民公園敷地になっている地蔵池(約1,700㎡)のほりであった場所にある。



地蔵盆の飾りつけ



改修された地蔵堂



山西市民公園内の地蔵池跡石碑

西池跡

地蔵池と共に、圃場整備により埋め立てられ、現在は農地となっている西池(約2,500㎡)のあった場所に「西池跡」の石碑が設置されている。



西池跡石碑

(6)アンケート調査

山西地区住民の農業や農地、生活環境等に関する意向を把握するため、平成13年2月にアンケート調査を実施し、20件の回答を得た。次ページ以降にその結果を示す。

山西里づくり アンケート集計結果 回答者数 20人

I 家族や農業経営等

問1 回答者の性別

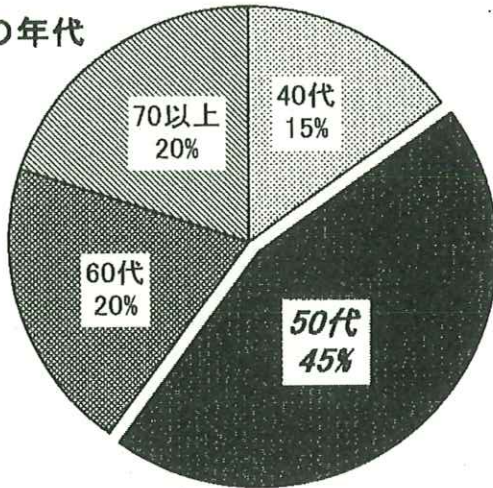
男性	16人
女性	4人

問2 回答者の年代

回答数 20人

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70以上
0人	0人	0人	3人	9人	4人	4人
0%	0%	0%	15%	45%	20%	20%

回答者の年代

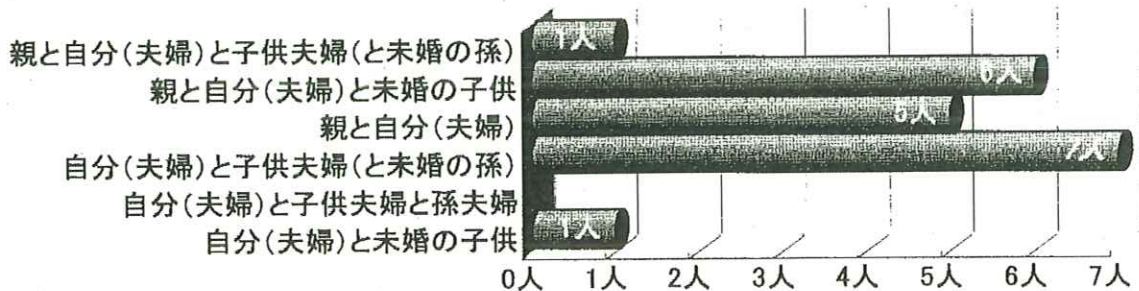


問3 同居している家族の構成

回答数 20人

親と自分(夫婦)と子供夫婦(と未婚の孫)	1人	5%
親と自分(夫婦)と未婚の子供	6人	30%
親と自分(夫婦)	5人	25%
自分(夫婦)と子供夫婦(と未婚の孫)	7人	35%
自分(夫婦)と子供夫婦と孫夫婦	0人	0%
自分(夫婦)と未婚の子供	1人	5%

同居家族の構成

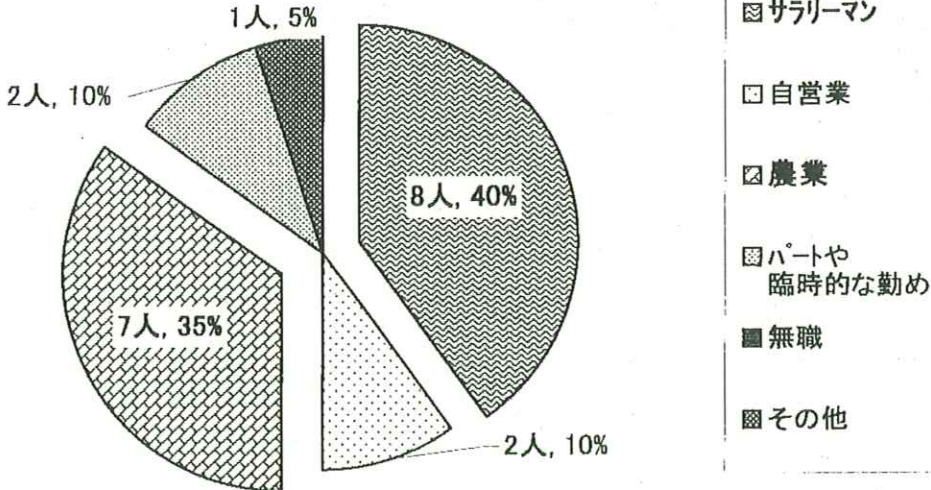


問4 世帯主の仕事

回答数 20人

サラリーマン	自営業	農業	パートや 臨時的な勤め	無職	その他
8人	2人	7人	2人	0人	1人
40%	10%	35%	10%	0%	5%

世帯主の仕事



問5 経営農地面積等

(1) 所有農地面積

平均面積 103a

回答数 16人

(2) 耕作面積

平均面積 101a

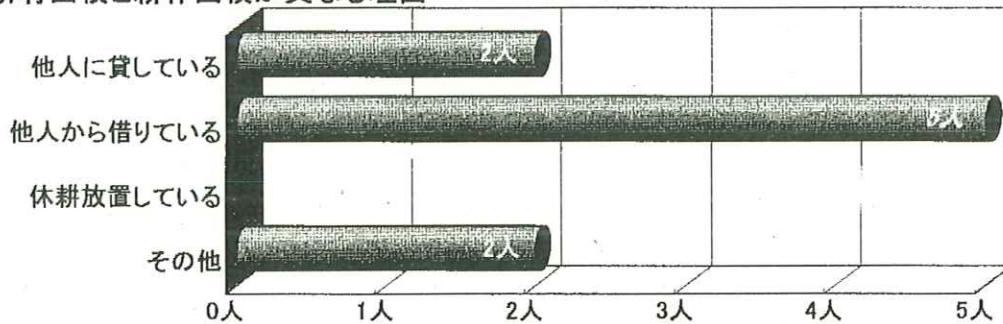
回答数 16人

(3) 所有面積と耕作面積が異なる理由

回答数 9人

他人に貸している	他人から借りている	休耕放置している	その他
2人	5人	0人	2人
22%	56%	0%	22%

所有面積と耕作面積が異なる理由



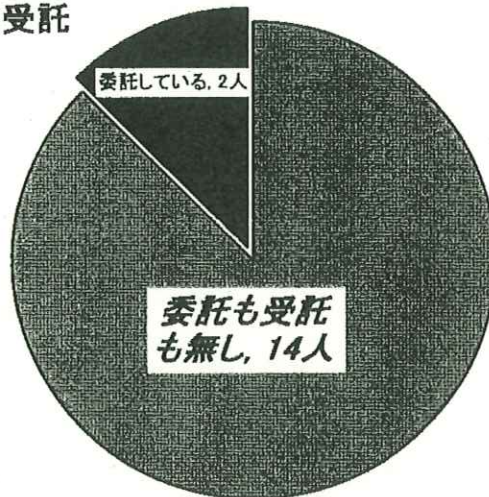
問6 農作業の委託または受託

回答数

16人

委託も受託も無し	委託している	受託している	その他
14人	2人	0人	0人
88%	12%	0%	0%

農作業の委託または受託



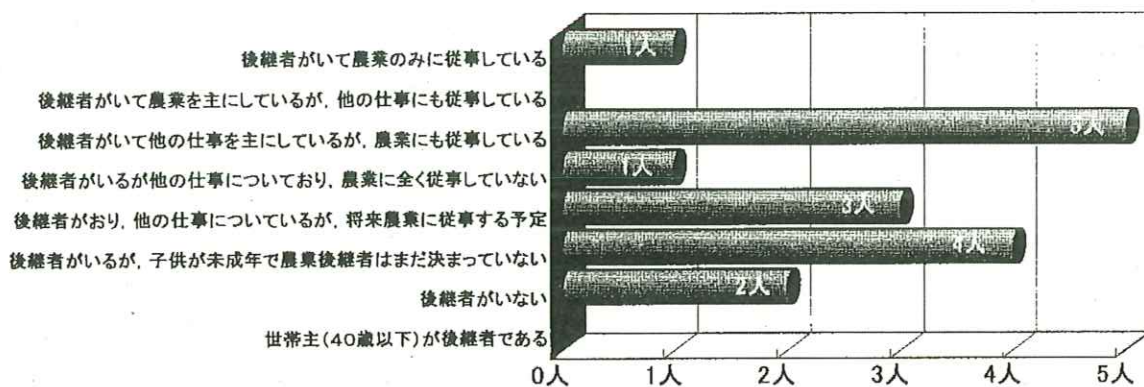
問7 農業後継者の状況

回答数

16人

後継者がいて農業のみに従事している	1人	6%
後継者がいて農業を主にしているが、他の仕事にも従事している	0人	0%
後継者がいて他の仕事を主にしているが、農業にも従事している	5人	31%
後継者がいるが他の仕事についており、農業に全く従事していない	1人	6%
後継者がおり、他の仕事についているが、将来農業に従事する予定	3人	19%
後継者がいるが、子供が未成年で農業後継者はまだ決まっていない	4人	25%
後継者がいない	2人	13%
世帯主(40歳以下)が後継者である	0人	0%

農業後継者の状況



問8 農業経営上のことについて

(1) 農業経営上の悩み

回答数 15人

農業後継者が確保できていない	5人	33%
農作業が過重となり健康を害する	2人	13%
地価が高く農地購入による規模拡大が困難である	1人	7%
長期低利の農業資金の借入れが難しい	2人	13%
借入金の返済の目途が立たない	1人	7%
農業機械・施設の過剰投資に陥っている	11人	73%
農業生産資材の価格が高すぎる	10人	67%
農産物価格が割安である	12人	80%
その他	3人	20%

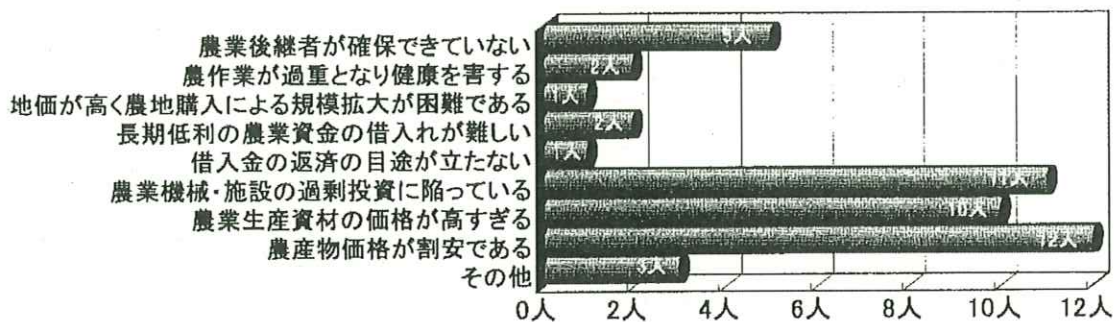
(2) 農業経営上の楽しみ・夢について

回答数 16人

人に左右されず、自分で工夫しながら自由に農業が行える	8人	50%
時間にとらわれず、自分の時間で行える	11人	69%
老後の生きがいとして楽しめる	9人	56%
作る喜びが味わえる	8人	50%
自分で作った新鮮な野菜等が食べられる	12人	75%
その他	1人	6%

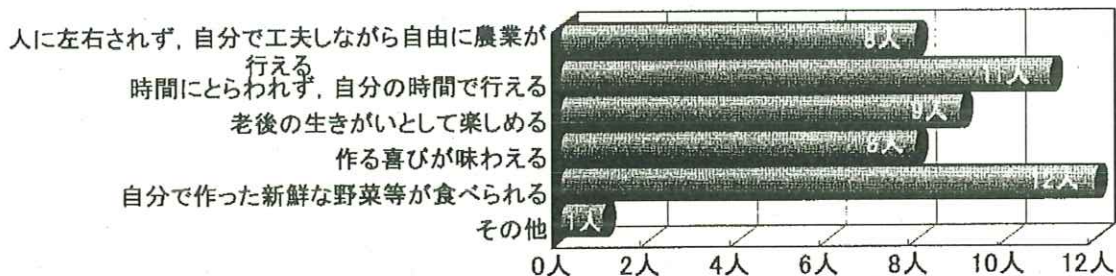
農業経営上の悩み

(複数回答)



農業経営上の楽しみ・夢

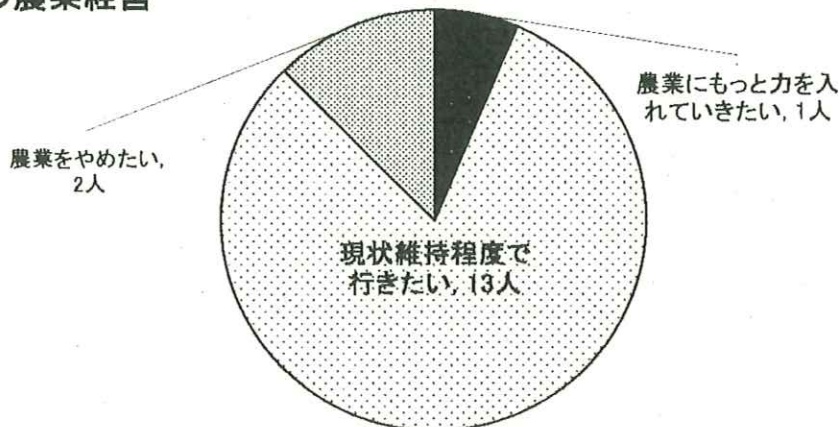
(複数回答)



問9 将来の農業経営 回答数 16人

農業にもっと力を入れていきたい	1人	6%
現状維持程度で行きたい	13人	81%
農業経営を縮小したい	0人	0%
農業をやめたい	2人	13%

将来の農業経営



問10 訪9で農業拡大を選択した方の方向 回答数 1人

(1) 拡大の方法

農地を買い経営面積を増やしたい	0人	0%
農地を借り経営面積を増やしたい	0人	0%
農作業を受託したい	0人	0%
施設を増・新設したい	1人	100%
裏作の作付け面積を増やしたい	0人	0%
その他	0人	0%

(2) 拡大部門

稲作	0人
露地野菜	0人
施設野菜	1人
果樹	0人
花卉	0人

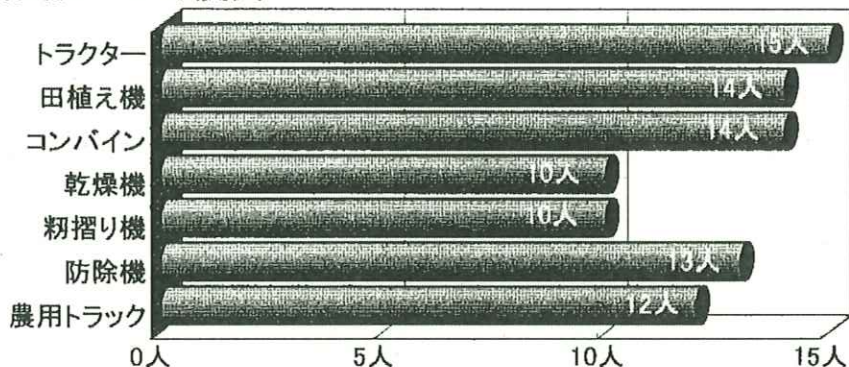
植木花卉	0人
畜産	0人
観光農業	0人
貸農園	0人
その他	0人

問11 問9で縮小またはやめたいを選択した方 その方法 回答数 2人

農協等の団体に農作業を委託したい	1人	50%
農用地利用集積等により専業農家に貸したい	0人	0%
売りたい	1人	50%
その他	0人	0%

問12保有している農具	回答数	20人
トラクター	15人	75%
田植え機	14人	70%
コンバイン	14人	70%
乾燥機	10人	50%
籾摺り機	10人	50%
防除機	13人	65%
農用トラック	12人	60%

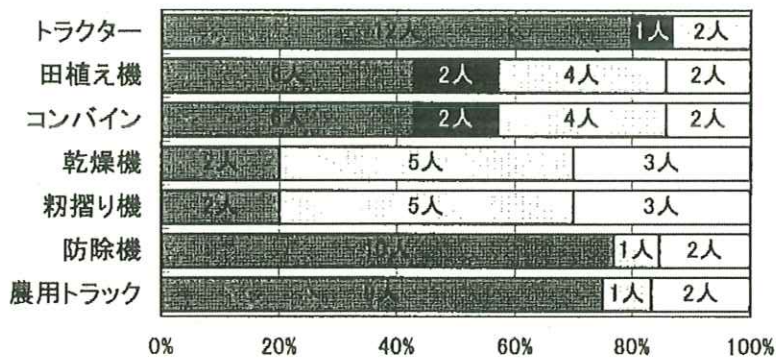
保有している農具



問13 あなたの農機具が古くなり、使用できなくなった場合の対応をどうしますか

	トラクター 回答数15人	田植え機 回答数14人	コンバイン 回答数14人	乾燥機 回答数10人	籾摺り機 回答数10人	防除機 回答数13人	農用トラック 回答数12人
新規購入	12人 80%	6人 43%	6人 43%	2人 20%	2人 20%	10人 77%	9人 75%
共同購入	1人 7%	2人 14%	2人 14%	0人 0%	0人 0%	0人 0%	0人 0%
他の農家の機械を借りる	0人 0%	0人 0%	0人 0%	0人 0%	0人 0%	0人 0%	0人 0%
機械は買わず、農作業を委託する	2人 13%	4人 29%	4人 29%	5人 50%	5人 50%	1人 8%	1人 8%
農業をやめる	0人 0%	0人 0%	0人 0%	0人 0%	0人 0%	0人 0%	0人 0%
無回答	0人 0%	2人 14%	2人 14%	3人 30%	3人 30%	2人 15%	2人 17%

農機具が古くなり、使用できなくなった場合の対応



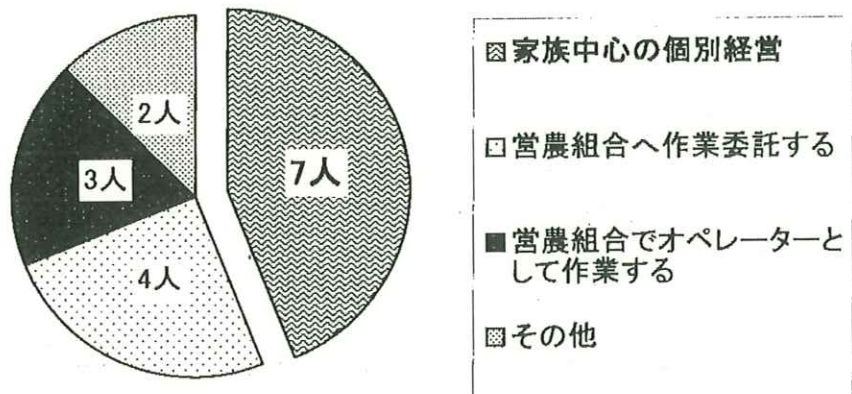
- 新規購入
- 共同購入
- 機械は買わず、農作業を委託する
- 無回答

問14 集落内での営農組合による稲作作業の共同をどう考えるか

回答数 16人

家族中心の個別経営	7人	44%
営農組合へ作業委託する	4人	25%
営農組合でオペレーターとして作業する	3人	19%
その他	2人	12%

集落内での営農組合による稲作作業の共同をどう考えるか

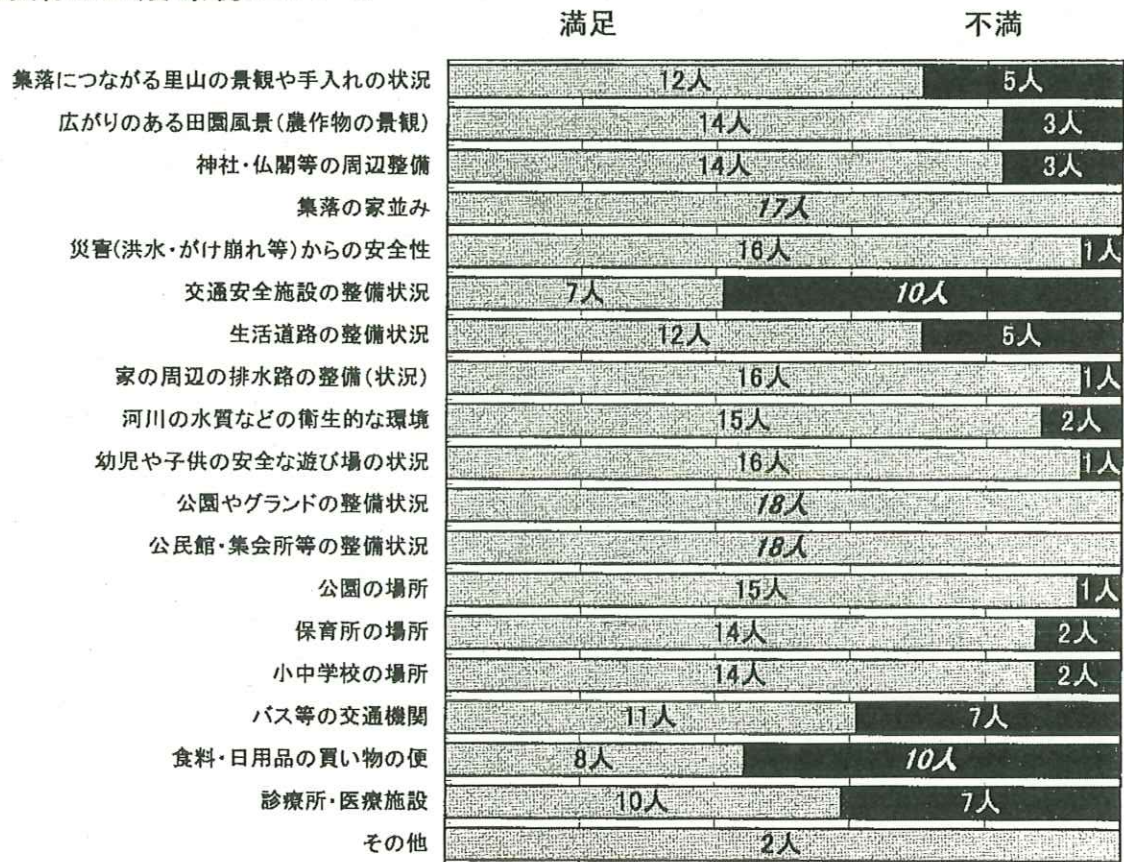


II 集落の環境について

問15 集落の生活環境について

項目	満足 ○	不満 ×
集落につながる里山の景観や手入れの状況	12人	5人
広がりのある田園風景（農作物の景観）	14人	3人
神社・仏閣等の周辺整備	14人	3人
集落の家並み	17人	0人
災害（洪水・がけ崩れ等）からの安全性	16人	1人
交通安全施設の整備状況	7人	10人
生活道路の整備状況	12人	5人
家の周辺の排水路の整備（状況）	16人	1人
河川の水質などの衛生的な環境	15人	2人
幼児や子供の安全な遊び場の状況	16人	1人
公園やグラウンドの整備状況	18人	0人
公民館・集会所等の整備状況	18人	0人
公園の場所	15人	1人
保育所の場所	14人	2人
小中学校の場所	14人	2人
バス等の交通機関	11人	7人
食料・日用品の買い物の便	8人	10人
診療所・医療施設	10人	7人
その他	2人	0人

集落の生活環境について



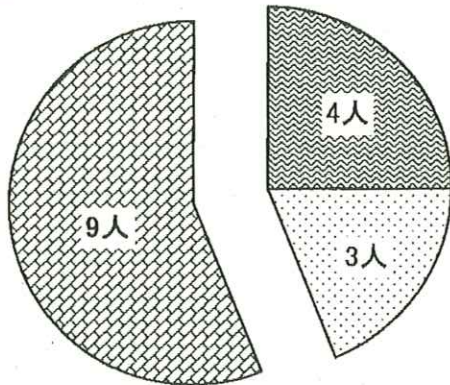
III あなたの集落の将来について

問18 集落の望ましい将来方向

回答数 16人

農村的な環境の保全を重視し、水路や農地、農道等の整備を進める	4人	25%
農業基盤整備と都市的区画整理の一体的な整備を進める	3人	19%
農業的な環境が損なわれない程度に都市化・宅地化を進める	9人	56%
その他	0人	0%

集落の望ましい将来方向



- 農村的な環境の保全を重視し、水路や農地、農道等の整備を進める
- 農業基盤整備と都市的区画整理の一体的な整備を進める
- 農業的な環境が損なわれない程度に都市化・宅地化を進める

IV 今後の土地利用について

問19 所有農地の使い方

(1) 今後どのように使うか

回答数 14人

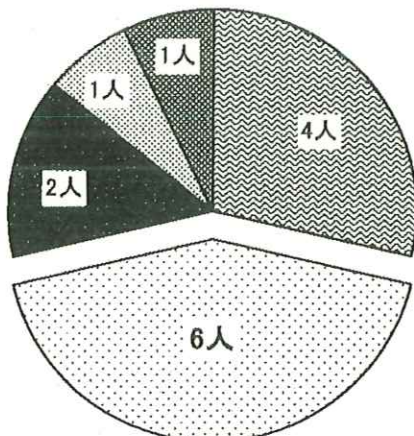
将来にわたり、農地を売ったり転用したりするつもりはない	4人	29%
今後少なくとも10年程度は農地として利用するが、その後は周囲の状況を見てきめる	6人	43%
農地の一部は転用したい	2人	14%
農地の一部は売却したい	1人	7%
農地はすべて転用したい	0人	0%
農地はすべて売却したい	1人	7%

(2) (1)で転用や売却と答えた方の用途

回答数 4人

分家住宅	1人	25%
自己住宅の増築用地	1人	25%
駐車場経営用地	0人	0%
工場・倉庫・店舗等経営用地	0人	0%
農家へ農地として売却する	0人	0%
公共用地として売却する	0人	0%
その他	2人	50%

(1)今後どのように使うか



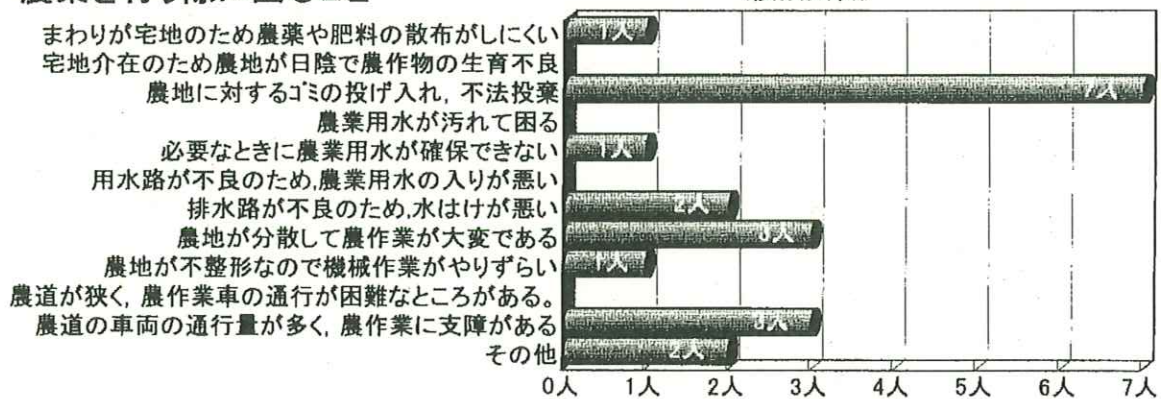
- 将来にわたり、農地を売ったり転用したりするつもりはない
- 今後少なくとも10年程度は農地として利用するが、その後は周囲の状況を見てきめる
- 農地の一部は転用したい
- 農地の一部は売却したい
- 農地はすべて売却したい

問20 農業を行なう際に困ること 回答数 11人

まわりが宅地のため農薬や肥料の散布がしにくい	1人	9%
宅地介在のため農地が日陰で農作物の生育不良	0人	0%
農地に対するゴミの投げ入れ, 不法投棄	7人	64%
農業用水が汚れて困る	0人	0%
必要なときに農業用水が確保できない	1人	9%
用水路が不良のため, 農業用水の入りが悪い	0人	0%
排水路が不良のため, 水はけが悪い	2人	18%
農地が分散して農作業が大変である	3人	27%
農地が不整形なので機械作業がやりづらい	1人	9%
農道が狭く, 農作業車の通行が困難なところがある。	0人	0%
農道の車両の通行量が多く, 農作業に支障がある	3人	27%
その他	2人	18%

農業を行う際に困ること

(複数回答)

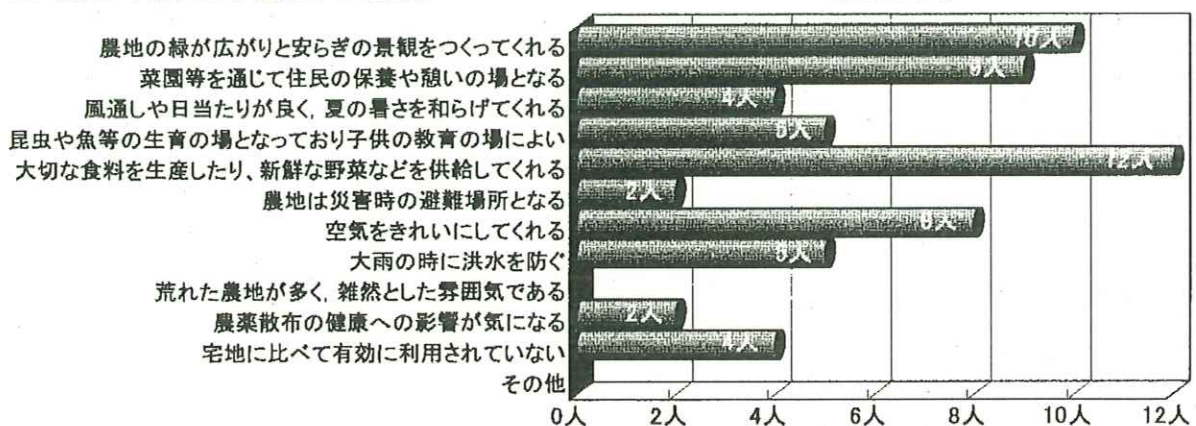


問21 当地区の農地や農業の役割 回答者 17人

農地の緑が広がり安らぎの景観をつくってくれる	10人	59%
菜園等を通じて住民の保養や憩いの場となる	9人	53%
風通しや日当たりが良く, 夏の暑さを和らげてくれる	4人	24%
昆虫や魚等の生育の場となっており子供の教育の場によい	5人	29%
大切な食料を生産したり, 新鮮な野菜などを供給してくれる	12人	71%
農地は災害時の避難場所となる	2人	12%
空気をきれいにしてくれる	8人	47%
大雨の時に洪水を防ぐ	5人	29%
荒れた農地が多く, 雑然とした雰囲気である	0人	0%
農薬散布の健康への影響が気になる	2人	12%
宅地に比べて有効に利用されていない	4人	24%
その他	0人	0%

当地区の農地や農業の役割

(複数回答)



山西アンケート自由意見等の集約

問 16 集落内で保存したいと思われる所(文化財,自然)や行事があれば, その場所名と理由を記入して下さい。

○大歳神社, 地蔵さん, 中池,



○毎年, 初集会の午後, 神出神社の宮司さんを招いて行われる“御燈(おとう)”と抽選で選ばれた3人の1組が集落内の各家々を廻る行事。

○現在の状態でよい。

問 17 集落内で特に改善すべきと考えているところ(道路,排水路等)があれば, その場所名と理由を記入して下さい。

○中池と上池の中を通っている道路——狭い



○国道 175 号線に信号機がない——危ない



○村の中心を南北に通っている道路の拡大(拡幅?)が必要。細い(狭い?)
道路なのに交通量が非常に多くなった

○集落内の道路の舗装が残っている

問 20 自由意見

農業はそれぞれ個人経営であるが、ある面は共同体となっている。それだけにその地域、集落は一つになって共存共栄でなければならない。その地区の住民が協力しあって、地域を発展させ、守っていかなければならないと思います。今後も行政のご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

その他の項目で意見を記入されたもの

問 14 集落内に営農組合を設立し、稲作作業を共同で行うことについて、どう考えるか

○今までは個別経営の家が大部分を占めていたが、今後は後継者問題や仕事上の都合で、委託を考える家が増えてくると思う。集落で営農組合を設立という考えを持つ時期にきていると思う。

(7)点検マップ作成 (現地確認作業)

山西自治会館に平成 14 年 3 月 23 日 13 時集合、2 時間ほど、集落を歩いて見て回った (地元参加者 17 名、西農政事務所 3 名、計 20 名)。その後、自治会館に戻り、参加者に感想を聞いた。

(感想・意見)

- ・民家が点々としてかたまっていない。周囲は山ばかり。
- ・下池周辺、ゴミ袋や空き缶が散乱している。
- ・釣り人を規制できないか。
- ・ひまわりの出来が悪かった。
- ・放置している田の草刈をしてもらいたい。種が飛んで困る。
- ・空き缶や壇のポイ捨て(175 号線)危険である。
- ・つる草 (葛?) 繁茂している。対策はないか。
- ・ゴミの事以外は良い集落。
- ・175 号線を横断するのに手間がかかった。信号設置は無理か。
- ・信号を設置すると、逆に渋滞の原因となる。バイパス出来れば交通量は減少する。
- ・奇数月に婦人会(5 名)でゴミ集めしている。環境局に持って帰ってもらった。
- ・集落内の耕作放棄田が問題。
- ・空いている(耕作していない)田をどう利用するか。市民農園は検討できないか。



II 整備の目標及び方針

圃場整備により向上した農業生産性と良好な農村景観を維持するため、優良農地を保全するとともに、遊休農地や遊休ため池を活用して都市住民との交流を進め、地域の活性化を図る。そのため、地域の結束を更に強め、より明るい・住みやすい集落となるための活動に積極的に取り組む。

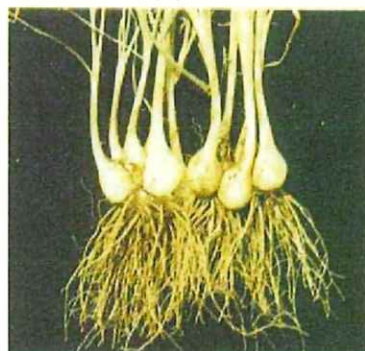
III 農業振興計画

(1)地域特産物づくり

近隣にない作物（にんにく、らっきょう、つくねいも等）の栽培に取り組み、将来は地域の特産物となるよう、栽培技術の向上と作付面積の拡大に努める。



にんにく



らっきょう



つくねいも
(写真は丹波芋)

(2)貸農園等の設置と都市住民との交流

農地の良好な保全、転作への対応や遊休農地の有効活用等の観点から、資産保有農地について、貸農園の整備を推進し、都市住民との交流も積極的に進める。多くの人々が利用しやすいように、料金を低廉に設定し、利用者の確保を図る。

(3)おいしい米づくり

この集落は兼業農家が大半であり、優良農地を保全するには水稻栽培が最も適している。生産調整に対応しながら、栽培技術の向上と食味の良い品種の選択により、美味しい米づくりをすすめる。



集落に広がる圃場の風景

(4)集落営農の推進

近隣の他地区と同様に、農業機械への過剰投資や担い手・後継者の不足が、この集落においても大きな問題となっている。この問題に対処して、農作業の共同化や受委託・作付地の集団化などをすすめるため、集落のみんなで考え集落全体で実践する集落営農に取り組む。



今後、集落全体で検討する

(5)ため池等水利施設の整備

護岸の崩壊が進行している下池南岸部分について、農業用水の安全かつ安定した確保のため、農村総合整備統合補助事業を導入し、改修を行う。

これをもって、良好な景観の創出とともに、高い農業生産性を維持する。



現在の下池の景観

IV 環境整備計画

(1)良好な環境の維持

現在、婦人会だけで行っているゴミ清掃（奇数月に実施）を集落全体で取り組み、ゴミを捨てない・捨てさせない環境作りで美しい景観を維持する。

(2)下池周辺のゴミ対策

マナーの悪い釣り人などによる下池周辺のゴミ投棄に対しては、手作り看板の設置などにより、地域全体として環境に配慮する姿勢をアピールし、マナー向上の啓発活動を実施する。



下池周辺のゴミ

V 都市住民との交流に関する計画

(1) ひまわりの植栽

“ひまわりの里・神出”事業(ひまわりの里・神出実行委員会が実施主体)に積極的に取り組んで特色のある景観の形成を図り、都市住民との交流事業に活用する。



一面に咲き誇るひまわり

(2) 直売所の設置

貸農園の設置にあわせ、小規模の直売施設の設置を検討する。地域交流の核として、また、高齢者の活動促進や地域の活性化も考慮に入れ、将来的にはさらに拡大を目指す。

(3) 遊休ため池の有効活用

現在農業用水に利用していない、通称出刃池について、ビオトープ(野生生物のための生育空間)として整備を行い、教育活動への貢献及び自然環境・景観保護を積極的に推進する。



出刃池の現況
将来はビオトープ化を検討したい

山西里づくり協議会活動経過

会議等名称	年月日	場所	参集者	内容
里づくり協議会	平成10年7月8日	/		山西里づくり協議会設立
里づくりアンケート	平成13年2月	/		アンケート実施
第1回協議会	平成13年7月9日	山西自治会館	地元, 市	アンケートの結果報告、計画策定の意思決定
第2回協議会	平成14年2月1日	山西自治会館	地元, 市	計画策定の進め方、アンケート集計結果検討 雌岡山南地区活性化推進研究会検討内容との調整
第3回協議会	平成14年2月27日	山西自治会館	地元, 市	営農に関する検討を行う
点検マップ作成	平成14年3月23日	/		現地調査を行う
第4回協議会	平成14年3月23日	山西自治会館	地元, 市	現地調査の感想・問題点の確認
第5回協議会	平成14年4月23日	山西自治会館	地元, 市	農業振興計画に係る意見・検討
第6回協議会	平成14年5月29日	山西自治会館	地元, 市	計画項目の選定・検討
第7回協議会	平成14年6月21日	山西自治会館	地元, 市	計画項目の検討・修正・追加
第8回協議会	平成14年7月30日	山西自治会館	地元, 市	計画素案の検討
第9回協議会	平成14年8月27日	山西自治会館	地元, 市	計画素案の検討
第10回協議会	平成14年10月28日	山西自治会館	地元, 市	全体会で計画書を承認する



山西自治会館



計画検討の会議風景